

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

2025年 グループホームなごみ

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念は、玄関に掲示している。また毎日の申し送り時間に行動指針を唱和することで、一日の仕事に取り組んでいる。そのほか、生産性向上のための気づきシート記入により、業務の課題を共有している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	この地域の自治会に加入しており、回覧板を届け、地域の清掃活動にも職員が代表で参加している。小中学校や保育園との交流も行い、なごみ祭りにも地域住民の多くの参加をいただいた。 そのほか、西小林中学校への認知症サポーター養成講座に講師として参加し、認知症への理解を深めてもうよう努めている。	なごみ祭りや小中学校との交流もできているので、今後も続けて交流を図ってりたい		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議での、行事や利用者状況の報告をおこない、委員の方からの意見も頂いており、その意見は職員会議にて直接職員にも伝えるようにしている。 改善すべき意見などについては、職員間で協議している。	職員会議録を見ても、その都度運営推進会議の報告がなされており、意見についてしっかり受け入れてられているようだ		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の長寿介護課や福祉課、地域包括支援センターと必要に応じて連絡報告相談を行っている。事故報告や補助金申請、生活保護の件についても相談している。	市の長寿介護課や福祉課の保護係、地域包括支援センターとの相談や関係は日常的に図られ、長寿介護課にもよく来庁てもらっている		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束や虐待は絶対にしないための指針やマニュアルがあり、委員会を定期的に開催している。ホームの玄関の施錠を日中はしないことを職員間で確認している。利用者の中で帰宅願望が強い方への対応は、都度職員が外の散歩などに取り組むようにしている。		A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修は適切に実施しており、マニュアルや指針に基づいた委員会でも定期的開催され、利用者の身体拘束抑制の事例はないので安心できる。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止法に基づく指針を作成し、常に、不適切なケアのないように、職員間で確認するとともに計画的に研修会を開催し、職業倫理感を醸成するように努めている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束抑制禁止、不適切なケアの禁止併せて高齢者虐待防止の指針に則って研修会も実施れている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	権利擁護については、職員研修の中で学んでいるが、成年後見制度や日常生活自立支援事業等の制度について学ぶ機会は少ない。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の契約書の説明と重要事項の説明を行っている。報酬改定やホームの食事代や水道光熱費等の改定があった際には、利用者や家族に説明をおこない、同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の利用料請求書送付の際に、直近の利用者の様子を手紙と写真にて報告しており、定期的な広報誌も発行している。また随時家族からの意見や要望を受け付けるようにしている。 また運営推進会議にて、様々な意見をいただくようにしているが、第三者機関については特に設けていない。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	第三者委員会設置はないが、毎月利用者の様子を写真とメッセージつきの手紙を発送しているので職員は努力している。また広報紙も定期的に発行していることで、利用者の生活の様子がかりやすい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に代表者や管理者は職員に意見を聞く機会があり、代表者は1年1回の職員とのヒアリング（意見交換）を行うようにしており、職場の環境改善等について反映するようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は職員個々の労働条件や休み希望などを聞き、また随時休みの希望を聞くようにしている。 職員会議や研修の参加状況なども踏まえて、給与水準が向上するように努めている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員不足の中であっても、有休休暇や希望休を付与している。また給与も昇給できる仕組みもあり、経営者としても職場環境や待遇改善に努力できているようだ。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は外部研修などの希望を聞き、積極的な研修の機会を設けるようにしている。また資格取得に向けた講習会等の参加も後押ししている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同業者や関係機関との研修会参加や、地域の関係者とのネットワークへの参加をおこない、情報交換する機会を得ている。しかし業務の都合上参加できないときもある。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームの制度や利用者支援のための内部研修会を行い、利用者中心の支援ができるために日々努力している。またケアの理念に沿った支援について職員が協働できるようにしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の面会や友人の面会ができるようにしている。面会については感染対策の上おこなうようにしている。 また入居前のなじみの理美容院などが利用できるように支援している。	新型コロナやインフルエンザ等の対策により、状況をみながら面会や外出外泊等の検討をしてきたことにより利用者や家族も安心できているのではないかな。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者個々の思いについて、ホーム内だけの支援だけではなく、家族や地域の協力も得ながら生活できるように支援している。可能な限り利用者の意向に沿うようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画について担当者会議を開催し、利用者や家族の意向の確認や介護計画の説明をする機会を設けている。直接会議ができない場合は電話での聞き取りや説明を行うようにしている。	介護計画書を拝見したところ、個別に生活の支援方法が定められており、利用者本人や家族の意向も盛り込まれている。	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3ヶ月1回の計画書の見直しでも、利用者家族に対して、しっかりと説明ができている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者支援についての申し送りを確実にし、気づいたことや改善すべきことがあれば職員間での情報の共有ができるようにしている。また職員会議にて特別な改善点がある場合には協議するようにしている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	申し送りノートも細かく記録され、職員同士の連携が図られている
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の状況が日々で変わることがあり、例えば急に散歩がしたい、あるいは自宅に帰ってみたいという意向に沿うようにしている。しかし職員体制によりできない場合は、できる日に改めて実施する	介護計画書にないことであっても、利用者本人や家族が希望したことを、可能な限りかなえてくれることは大事なことで。また帰宅願望がある方の対応もしっかりできている。		

				ようにしている。そのほか、在宅介護の緊急時のショートステイの希望があれば受け入れるように対応している。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の関係者や団体との交流が少しずつできるようになってきている。今後はもっと地域へ出向くようにしたり、関係者との連携が図られるようにしたい。	西小林地域の様々な事業所や社会資源との関わりは大切なことだが、地域との交流もコロナ以降でできているのではないか		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者のかかりつけ医はそれぞれであるが、定期的な受診計画を立てて対応している。また緊急的な受診についても柔軟に対応している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が入院した場合などは、入院時にホームからの情報を提供し、入院時にも随時にも医療機関に情報を聞くようにしており、退院時には入院時の本人情報をもらい、ホームでの支援が継続できるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時の契約時に、終末期や重度化の指針を説明して同意を得ているが、利用者の状態が変化する中で、グループホームとしてのケアの在り方をその都度本人家族に説明している。 これまでも終末期の看取りについて実践してきた例がある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の最期をどう迎えたいか難しいところだと思うが、本人や家族に寄り添い、最終的に関係者との連携も図りながらおこなっていく必要があると思う。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急緊急時の対応については、救急法や蘇生法を学ぶ機会を得ている。またAEDの取り扱いについても研修している。緊急時の連絡体制も確立している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の総合防災訓練を実施している。ただ地域の協力については、現在も新型コロナの影響で停止しているので、今後地域との協力体制を再構築していきたい。また災害対応については指針を作成して訓練計画を立てている。 災害時の停電等に対応するための非常災害発電機を設置し、利用者の生活が停滞しないようにしている。	災害対策の訓練や研修会もしっかりできているので、継続してほしい。いざというときのための備えをしっかりしてほしい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害時の業務継続計画に基づいて、訓練や研修を行っているが、非常食や緊急用の備品などの備えを確認してほしい。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重 とプライバシーの 確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ バシーを損ねない言葉かけや対応をして いる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の個性を尊重し、プライバシー を守り、個人としての神格や人権を守る ための声掛けや対応をしているが、時に よっては仕事に追われるあまりに、でき ていないこともある。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コンプライアンス委員会にて検討し、研修 会を実施しているが、全職員の質の向上をこ れからも図っていくことが大事である。
27	日々のその人らし い暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりの日常生活における希 望や意向、暮らしのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の意向やペースに沿って支援し ているが、時には、職員の都合を 優先してしまうことがあり、迅速な対応が できないときもある。			
28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と 職員が一緒に準備や食事、片付けをして いる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は利用者の嗜好調査を行い、 好きなものや食べたいものをメニュー に反映している。また食事形態は、そ の人に合わせてキザミ食、ミキサー 食、一口大の刻みなどして提供を行っ ている。 食事の準備や後片付け、茶碗洗いな どもできる利用者にはお願いしてい る。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食の楽しみは大事なことだが、可能な限り 三食、そしておやつまで手作りにこだわっ ている。後片付けや洗い物なども利用者がで きることを一緒にしていけるといいのではな いか。
29	栄養摂取や水分確 保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事や水分量は毎食ごとに記録して いる。水分は1日に1500CC以上を目 安として提供している。またお茶以外 にも口当たりの良い飲み物や脱水防止 のための飲み物を個別に提供してい る。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力 に応じた口腔ケアをしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食ごとに口腔ケアを行っている。 また義歯の衛生管理は毎日行い、必要 に応じて個別に訪問歯科の利用を行い 口腔内衛生に努めている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を 活かして、トイレでの排泄や排泄の自立 にむけた支援、便秘の予防等、個々に応 じた予防に取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排せつ介助が必要な方は、可能な限 りトイレへの誘導や声掛けを行い、自 然排せつができるように支援してい る。また利用者個別に排せつパターン を知り、便秘対策や排せつの自立に向 けた支援を行っている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排便コントロールがうまくできていない利用 者については、主治医に相談しながら取りく んでいるので、家族も安心できると思う。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴は利用者個別に対応している。職員の勤務体制や行事などによって変更することもあるが、可能な限り利用者の意向に沿って入浴支援をしている。また入浴できない場合には清拭を行うようにしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の睡眠のサイクルは個別に異なるため、入眠時間や起床時間について、個別に配慮している。また利用者が日中睡眠をとりたいときも休息支援などをおこなっている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医から処方された内服薬は、担当者が仕訳を行い、薬の情報については、職員が共有できるようにファイル化している。 誤薬のないように、3段階に分けて内服薬の確認を行うようにしているが、完全ではないときもあり、誤薬の場合には薬剤師に相談するようにしている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3段階にて服薬の確認をしているにもかかわらず、見落としが生じている現実があるので、薬について職員全員がしっかり緊張感をもって支援できるようにしていきたい。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	計画的なレクリエーションや季節行事を取り入れている。また個別の趣味活動などはなかなかできていないが、本人の意向に沿って散歩やドライブをすることもある。	帰宅願望のある利用者の意向については、応えることについて難しいこともあるので、すべてについての受け入れは困難なのではないか。		墓参りについては、グループホームだからこそできることもあると考える。そのほか料理や洗濯物干しなど利用者と一緒にできることもグループホームらしさである。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍と異なり、現在では屋外のドライブや外出、散歩なども本人の意向や家族の協力を得ながらできるようになったが、今後さらに個別の意向を踏まえて出かける機会を設けたい。	写真や記録を見ても日常的に外出やドライブができていると思う。ほかのグループホームでも戸外に出ていないケースもあるが、なごみでは計画的または随時希望に沿ってできているのではないかな。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	原則ホームでは現金を預からないようにしているが、個人で持っていたい方は少額の管理をお願いしている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の要望があれば電話をかけたり、家族からの連絡をつなぐようにしている。携帯電話の持ち込みも可能であるが、現在は携帯電話を持つ方はいない。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	壁の絵なども季節感があるものを採用しているが、利用者の生活の支障にならないように配慮している。また食事のテーブル席やソファの座る位置なども、トラブルのないように配慮している。 そのほか、場所がわかるように明示したり印をつけるなどの工夫をして、利用者が混乱しないようにしている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護施設としての機能を生かしつつ、また利用者が混乱しないような工夫が施してある。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の思いや願いを、しっかりと聞いて支援することが基本であるが、暮らしの中でホームの業務優先で進めていくことも少なくない。しかし例えば自宅に帰ってみたいなどの意向があるときには、家族の協力を得て実現するようにしている。 今後もしっかりコミュニケーションを図りながら本人の思いに添える様にしていきたい。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前の情報や、本人や家族への聞き取りなどにより、本人の生活歴や職歴、趣味などを尊重して支援することを基本にしているが、業務都合や職員の都合によりできないこともある。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の血圧や体温、脈拍などの健康管理を行い、異常があればかかりつけ医にも相談しながら受診の支援も行っている。常に日々の体調変化や身体機能の変化を観察している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の健康チェックや主治医との連携を図り、家族への報告もできている。利用者の変化があったときにも主治医家族へ相談してほしい。

43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者本人の生活のペースを尊重し、喫煙などの習慣がある人も、宗教的な慣習がある人も、入所前の慣習などを尊重して支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に自宅で使用していたタンスや、家族の写真、仏壇やお位牌など、本人が安心できるものを居室に持ち込むことを許可している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	仏壇や位牌の持ち込みもあり、利用者が安心できるように配慮できていることはすばらしいと思う。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者本人の意向に沿って、墓参りや自宅への外出の支援ができている。家族への協力もお願いしているが、すべての利用者が希望したり実現したりすることではない。 また保育園や小中学校との交流はできている。			100パーセントできなくても90パーセントでもいいと思う。ひとり一人に対する様々な要望を聞き入れることは難しいので、場合によっては家族の協力も必要になると思う。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者は近年重度化しており、介護量も増えているが、食前食後の後始末や皿洗い、洗濯物たたみなど、できる利用者には役割を持ってもらうようにしており、個別の楽しみごとになっている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ゆっくりゆったり流れる時間の中で、利用者の傍らに寄り添って話をする場面を作るようにしているが、重度化によりなかなか話ができない方についても、声掛けするようにしている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さんを見ていると、ゆっくりしており、職員の動きも慌ただしくなくゆっくりした時間を過ごせている様子がうかがえる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なごみ祭りの際に地域との交流ができたが、近隣の方が畑作業中にも、居室の利用者に話しかけてくれている。			地域の一人暮らしの人も、グループホームがあることで安心できるのではないかなと思う。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の現在の支援が、利用者の満足度充足率を高めているか否か、わからないこともあるが、客観的にこのホームでよかったと利用者や家族が思っていたるように日々努力していきたい。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が自宅でできないこともグループホームであれば地域交流もできるので、利用者が幸せを感じることができるのが地域密着型サービスであると思う。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 2025年度 グループホームひなた

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年3月に理念の見直しや理念についてのアンケートを職員全体で実施している。結果を元に理念を作成し掲載し共有している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症の影響でほぼ交流はないが5類以降は、行きつけの美容室や文化祭見学など地域等とのつながりが途絶えないようにしている。	交流が出来ていない理由としてコロナなどの感染症があり交流が厳しいが感染状況をみながら行ってもいいのでは？無理な行事は控えてもいいと思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議録や職員会議での報告鵜を受けて、検討や必要に応じて業務内容にいかしている。職員全員、会議録を把握している。	A でいいのでは？なごみも十分にできていると思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要時にケアマネ、管理者が連絡を取っている。	このままでいいのでは。内容は共有しているのか？→申し送りノートやミーティング等で共有できている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修もあり、日々の業務を遂行する中で身体拘束になっていないか気を付けながらケアに取り組んでいる。身体拘束にならないよう居室のしつらえやベッド柵の場所にも気を付けている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分にできていると思う。このまま続けてほしい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員会を中心に内部研修に参加し不適切なケアから虐待にならないよう1人1人気を付けていると思う。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不適切なケアが1つの引きがねになり得る。接遇も見直す事も大切ですね。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	学習することは必要だと感じてはいるが、詳しく知る機会がなく活用できていない。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退所の際、家族に分かるように管理者より説明はしている。他職員は契約内容等に対して深く理解はしていないと思う。契約に触れる機会が少ない。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表、管理者、ケアマネより文章や会議録等で公表している。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分できていると思う。このまま続けてほしい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年一回あるヒアリングで直接意見を言う場が設けられている。管理者は1人1人の意見を聞き、必要に応じミーティングにて意見を話せる環境づくりを行っている			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	給与水準や昇給、加算等に対し理解できるような場がない。個人で聞く方もいるが全体的な説明会はない。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なかなか皆集めて会議をすることが難しい中、十分にできていると思う。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部・外部研修をはじめ、取り入れられることは実践している。日々の支援の中で他職員から学んでいると思う。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全ての職員への共有は難しいと職員からあったが十分できていると思う。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部研修からの復命書で学んでいる。他施設等の交流はない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人ができることはして頂き、できないところを手伝っている。手伝いなくできることはお願いしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行きつけの美容室や墓参りに行く機会を設けている。	行きつけの場所に行けることは、素敵だと思う。ぜひ続けてほしい。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者１人１人の個性を大切に接している。否定しないように努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアマネを中心に居室担当や管理者で意見交換し、問題点や課題について話し合っている。また、計画書作成前にミーティングにて全職員へ意見を伺う時もある。	分かりやすくていいと思う。	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族にも共有できていていいと思う。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いつもと違うといった状況や状態についてはケース入力や申し送りに記録し、残すように努力している。なるべく記憶が浅いうちに記録するように呼び掛けている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分にできていると思う。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その都度できる範囲ではあるが、その方の状態に沿ったサービスを提供するように実施しているが、本人の状態に見合わない事に対しての多機能化は柔軟性がない。	本人の状況を理解して頂くことは重要なことですし、ドクターからのアドバイスも必要と考えられます。柔軟なサービス提供を今後も行っていければいいと思います。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地元の商店で食材購入等をし、昔ながらの関係性を大切にしている。	馴染みのあるお店など、関係性は今後も続けてほしい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでのかかりつけ医を利用しているが、病状悪化や家族の意向で協力医へ変更する場合もある。適切な医療を受け入れられるよう家族にも提案している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は情報のやり取りを定期的に行い、退院に向けて対応している。定期受診の時から情報を伝え、いつでも相談できるように努めている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院中の情報などは必ずご家族様へ報告している。十分にできていると思う。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族に、管理者、看護師、ケアマネより情報を伝えて頂き、情報を共有している。病院にも相談等を行い、チームで支援をしている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期後のカンファレンスも行っている。十分できていると思う。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修委員会を中心に救急搬送等の研修を定期的に行っているが、全てにおいて完璧に対応できているかは自身がない。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年、2 回防災訓練を実施している。夜間帯は 1 人のため不安になってしまう気持ちがある。	訓練は出来ているが夜勤の 1 人の時に職員は不安がある。夜間の訓練はできている。コロナ過の為、地域の方々の参加協力をお願いが出来ていない。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なごみとひなたの自己評価の間を取ってB評価でいいと思う。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人格を無視した声掛けや態度にならないよう気を付けて対応しているが、利用者にとっては不快に感じるがあったかもしれない。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議に参加されたご利用者様から直接「職員みんな親切にしてくださいます。」と言葉をいただいた。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方のペースで生活できるよう自己決定を大切にして支援をしているが、良かったかどうか分からない。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	誕生日には好きなおかずを 1 品提供し、行事では季節を感じる食事内容やホットプレート料理など楽しみになるように支援している。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	きちんと個人に対して色々対応ができている。なごみもひなたもどちらも十分にできていると思う。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1 人 1 人に合った食事量や形態で提供している。水分量も毎日チェックし不足分は本人の好むものを提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後に口腔ケアの声掛けや実践が出来ている。個人の歯に合ったブラシも実践やケアにて支援している。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問診療を取り入れているのがとても良い。すごいと思う。口腔ケアは肺炎予防にもなるので取り組みは大変良いと思う。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	尿失禁やこぼしが少なくなるよう、パンツやパットの検討をしている。排泄パターンについては職員間で情報を共有し排泄時の声掛けなど働きかけをしている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緩下剤の利用等もきちんとしていていいと思う。排泄のため食事の工夫や水分を促すこともきちんとしているのでいいと思う。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月～土は入浴日となっており毎日声掛けをしている。なるべく入浴していない方を中心に声掛けを実施。業務体制によっては急遽入浴できない日もあれば日曜日まで入浴日を設ける日も少なくない。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好きな時間に居室で過ごしていただくなど自由にして頂いている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処方箋の内容、変更があった際は申し送りノートやケース入力し周知徹底に努めている。なぜ変更等があったのか理由も共有している。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員2人で薬の準備は確認しているが、服薬の際、確認不足の時がある。何事も完璧は出来ないだろう。との事で評価はほぼ出来ているいいと思う。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出(ドライブ)や菜園見学、野外散歩、外気浴など気分転換になるよう支援している。	外出は皆さんとても喜ばれるでしょう。そういう活動してくれているのはとてもいいと思う。		是非活動を続けてほしい。コロナが落ち着いたら積極的に活動していきたい。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症拡大時は出来なかったが、5類以降より外出、外食が出来るようになった為、積極的に計画をしていきたい。	工夫をして積極的に計画を立てている。		情勢的に無理でしょう。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人希望があれば所持できるが紛失しても責任が負えないとし5,000円程度は許可(契約上)。他は家族や事務所で管理している為、使用する機会は少ない。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族との電話や、年賀状、暑中見舞いを書いて投函する支援をしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で慣れた物(食器、タンス、雑貨類等)があれば家族に相談し持ち込んでいただいている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なごみもひなたも十分にできている。ご利用様の誕生日など飾りつけ等を行いくふうしている。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自身で判断し意思決定が出来る方は希望している生活が送れていると思うが、自己決定が難しい方は自分の思った生活ができるかは分からない。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出身地が近い方々が多く、顔見知りの方がいると時は職員が間に入り会話をつなげている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病状の悪化や身体面での変化があった際に、車椅子の利用や居室移動など本人に適している支援内容を提供している。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	完璧には無理でしょう。水分・食事摂取が不十分で体調を崩す事もあると思うのですが。毎日データを残している。食事、水分が進まないときには代替食も準備している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所当時は言いたいことも言えると思うが、介助が必要になると自分のペースで生活が出来ているとは思えないときもある。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に自宅で使用していた物や作ったもの、写真やメッセージなどを居室に掲示して、安心した生活が過ごせるような雰囲気作りを行っている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	仏壇などの持ち込みもできる。食器やタンスなども馴染みのあるものを持ち込んで頂けている。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ③ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ為にであった為に地域の行事に参加が出来ない日が続いている。現在ホームで出来る花見ドライブや施設周辺の散歩など実践している。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者 1 人 1 人にあった出来ることを見つけ、家事手伝いやレク活動、おやつ作りなど無理なく支援をしている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様から昔の話や仕事の話など尋ねると生き生きと話をされる。また、スタッフから利用者への問いかけに話をされることもあるので、内容にも注意している。		A. 充分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話の出来ない利用者さんにも是非、声掛けを継続して欲しい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防のため地域の方々との交流は現在も中々出来ていないが、GH なごみやデイサービスの方との交流をしている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフの共有支援により、利用者様が毎日、安心して生活が出来るように思われる。時々、感情が出て落ち着かないときは寄り添い話を聞いているが、ほぼ穏やかに過ごされている。		④ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症サポーター養成講座等行っていて非常によくできている。職員の頑張りにも A 評価でいいと思う。